

KALS 大学院入試対策講座

専属チューターからのメッセージ

チュートリアル通信

【2019 年度春】税法科目免除 VOL.2



河合塾 KALS の大学院入試対策講座では、チューター制度を導入しています。チューターは当校の合格者 OB/OG を中心に編成。授業での合格指導のみならず、受講生向け学習ガイド「サクセスクチュートリアル」や個別カウンセリングなどを通じて、受講生からの進路・志望先に関する事、自主学習に関する事など、合格に向けてきめ細かくアドバイスをしています。以下は、税法科目免除・金田チューターからのメッセージです。今後の受験対策のご参考にしてください！



KALS チュートリアル通信 税法

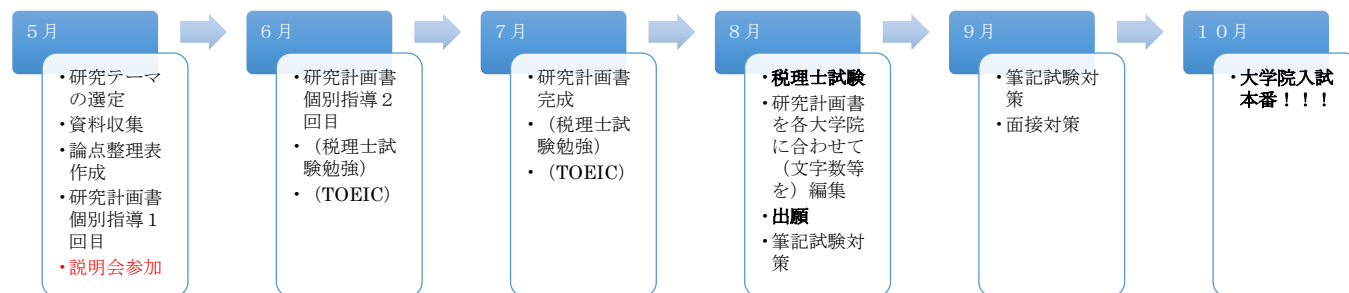
検索

院試のスケジュール

今年の税理士試験は8月6日（火）から8日（木）です。申し込み受付は5月20日（月）までなのでお早めにー！

税理士試験を受ける方は、大学院入試の対策も兼ねて準備しなければならないので大変かもしれません。そこで、今回は大まかなスケジュールと院試までの学習計画をご紹介します！

※仮にここでは9月1日を出願締切日、10月1日が試験日とします。



上記のようなスケジュールが理想だと思われます。

5月頃から、各大学院の説明会が始まります。気になる大学院の説明会はなるべく全て参加してください！様々な説明会に参加することによって、各大学院の特色や違いがわかると思います。日程については、大学院によってバラバラで、7月頃に説明会がある場合もありますが、詳細は各大学院のホームページに記載されているので確認してください。

「研究計画書」については、なるべく早くテーマを選択してください！そのあと、選択したテーマの資料を租税資料館や税務図書館等で収集し、論点整理表を作成してください。論点や学説などの理解が深まったら、研究計画書の作成に入ります。KALS 受講生の方は5月に一回目、6月に二回目の個別指導を予約してください。

「小論文試験」がある場合、最低でも試験日1ヶ月前には対策を行ってください。その対策とは、ノートをまとめたりするだけでなく、過去問を、**時間を計って**実際に何度も解いてみることをオススメします。

「英語試験」がある場合は今から少しずつで良いので毎日対策を行ってください。また、TOEIC等のスコアで英語の試験が免除できる場合、6・7月のTOEICなら間に合う場合もあるので挑戦してみても良いかもしれません。

「面接対策」は本番前の1～2週間前に対策を始めると良いです。KALS生は個別指導を予約して模擬面接を行ってもらうことをオススメします。



注意：一般入試対象の学外推薦入試志望の方、大学を卒業されていない方で事前調査が必要な方は、出願前に手続きが必要になります。まず、講師に相談してください！事前調査の日程等は、各大学院のホームページを各自確認してください。

資料（論文）を収集する

研究計画書のための資料を収集するといっても、どのような資料を読めば良いのか、そもそもどこで資料を集めればいいのかなかなか分からないかと思います。

まず、「判例評釈」とよばれる学者が書いた論文を読んで、その判決の重要な論点を読み取ることから始めます。それらは「ジュリスト」や「判例タイムズ」、「税理」などといった雑誌から探します。

今回は、それらの探し方を一部ご紹介します！

(1) 事実の特定

まず、資料を集めるために、テーマに選んだ判決を選ぶ必要があります。「武富士事件」や「ヤフー事件」などの事件の通称では特定できないこともありますので「判決日」を調べます。

(2) 検索エンジンを使う

①CiNii(サイニー) <http://ci.nii.ac.jp/>

事件に関する判批や論文を探すために、代表的な日本語論文検索サイトである CiNii(サイニー)を使ってみましょう。Googleのようにキーワードを自由に使って検索が可能です。

例えば、「武富士事件」と入力して検索すると50件程度の論文・判例評釈が結果として現れます。そして、その中から関心のある論文等を選び、掲載されている雑誌などの名前、巻号、ページなどを知ることができます。また、PDFでダウンロードできる論文が見つかることもあります。

②JTRI(日本税務研究センター)判例情報検索 <https://www.jtri.or.jp/>

「JTRI(日本税務研究センター)」の「判例情報検索」もとても便利です。判決日やキーワードなどを使った検索が可能です。検索できるのは判決と判例評釈に限られます。

以上のような方法で、検索結果が、少なくとも 10 件以上あるものを研究テーマとして選ぶようにしてください。あまり出てこない場合は、先々苦勞することが予想されますので、一度ご相談ください。

(3) 図書館に行く

CiNi や JTRI などが必要な判批や論文を見つけたら、次はそれらを図書館で探し、コピーすることになります。大学図書館と以下の3つの図書館の利用をお勧めします。私の場合は、コピー代が安かったのと、土日に開館していたので、ほとんど「租税資料館」を利用しました。有線インターネットの利用、延長コードの貸し出しなどもあり利用者にとっても親切です。

また、最寄りに大学図書館がある場合には、在校生や卒業生以外の方も、是非利用を検討してください。外部の利用者を受け入れている大学もあります。また、その大学図書館を通じて、他の図書館などからコピーを取り寄せることも可能です。

どうしても取得できない場合は、「国立国会図書館」の遠隔複写サービスをご利用ください。事前登録が必要ですが、あらゆる文献のコピーの取得が可能です。

● 公益財団法人 租税資料館

所在地 「方南町駅」(東京メトロ丸ノ内線)

東京都中野区南台 3-45-13 開館時間 9時30分～17時(祝日休館)

資料コピー可。10円/枚

● 公益財団法人 日本税務研究センター 租税図書室

所在地 「大崎駅」(JR 山手線)

東京都品川区大崎 1-11-8(日本税理士会館 2階) 開館時間
平日 10時～16時45分(土日祝日休館)

資料コピー可。20円/枚

● 国立国会図書館蔵書検索 NDL-OPAC <https://ndlopac.ndl.go.jp/>

国立国会図書館 遠隔複写サービス(要事前登録)



終わりに

あっという間に平成が終わり、令和になり、税理士試験が直前期に入りました。院試の試験日もあっという間にやってくるのである程度の計画を立てながら対策を進めてください。

私はM2（修士2年）になり、院生生活も残り1年を切りました。そこで、最近わかったことは、大学院と税理士試験の両立は難しいということです。私は、M1の一年間は大学院の授業に専念し、春休みからM2の前期までは修士論文関係の資料を収集しながら税理士試験の勉強を重視、M2の後期は修士論文に専念する予定でした。残念ながら予定通りには行かなそうです。原因は様々ありますが、計画は立てすぎない方が良く実感しました。計画をしっかりと立てたとしても、避けられない予定やハプニングが突然やってきます。それに対応できないと、せっかく立てた計画が全て崩れてしまい、パニックになってしまいます。社会人の方は、急に重い仕事を振られたりする場合があります。

私が皆さんにお伝えしたいことは、何か想定していなかったことが突然やってきても柔軟に対応ができるような余裕のある計画を立ててほしいということです。つまり、計画を立てる際はハプニングを想定しながら立ててほしいということです。そういう意味で上記に「ある程度の計画を立てながら～」と書きました。いつハプニングがやってきてもある程度対応できるように、

- ①予定を詰めない
- ②休む時間を必ず入れる
- ③完璧を目指さず、ある程度割り切る
- ④優先順位をつける（一番達成したい目標はどれか、その目標のために後回ししても良い他の目標はどれか決める）
- ⑤楽しみや自分へのご褒美をつくる

などを心がけることが大切だと思います。これらは、今私が実際に心がけていることです。

院試対策と税理士試験、社会人の方は仕事、学生の方は授業や卒論を両立するのなかなか大変だとも思います。思い詰めずに、適度に休んで、無理しない程度に頑張ってください！

